

地域福祉を 取り巻く状況について

【地域福祉計画統計資料】

平成28年～令和8年
(2016～2026)

令和8年7月1日現在

富谷市保健福祉部
長寿福祉課



No.	項目	ページ
1	人口の推移（総人口、年齢4区分別、割合）	1
2	地区別人口の推移（人口、割合）	3
3	自然動態・社会動態の推移	4
4	世帯数・1世帯当たり人員の推移	5
5	高齢者世帯数の推移	5
6	出生数と出生率の推移	6
7	外国人住民人口の推移	6
8	要支援・要介護認定者数の推移	7
9	認知症高齢者自立度の推移	7
10	障害者手帳所持者の推移	8
11	生活保護の推移【生活困窮者自立支援計画】	8
12	ひとり親世帯数の推移	9
13	自殺者の推移【自殺対策計画】	9
14	成年後見制度利用者数の推移【成年後見制度利用促進基本計画】	10
15	高齢者・障害者虐待審議件数の推移【成年後見制度利用促進計画】	10
16	児童虐待相談件数の推移【成年後見制度利用促進計画】	11
17	権利擁護関連の相談・訪問件数の推移【成年後見制度利用促進基本計画】	11
18	DV相談件数の推移	12
19	自立相談支援センターの相談件数の推移【生活困窮者自立支援計画】	12
20	民生委員・児童委員（主任児童委員）の推移	13
21	避難行動要支援者名簿登録者の推移	13
22	老人クラブ会員数の推移	14
23	町内会の推移	14
24	市民活動団体数の推移	15
25	ボランティア数の推移	15
26	地域サポーター養成研修の推移	16
27	ゆとりすとクラブ・サロン事業の推移	16
28	街かどカフェ事業の推移	17
29	認知症学びの講座の推移	17
30	子育てファミリー・サポート・センター事業の推移	18
31	市立小学校児童数・中学校生徒数の推移	18

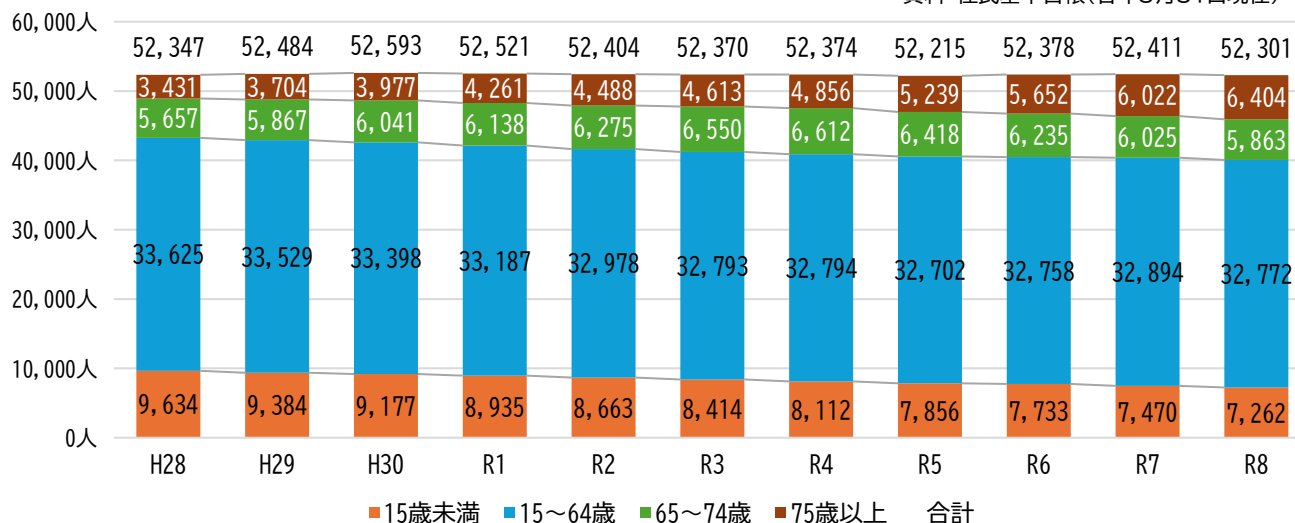
※「地域福祉計画」に包含し一体的に策定している計画

①【成年後見制度利用促進基本計画】、②【生活困窮者自立支援計画】、③【自殺対策計画】

1.人口の推移(総人口、年齢4区分、割合)

■年齢4区分別人口

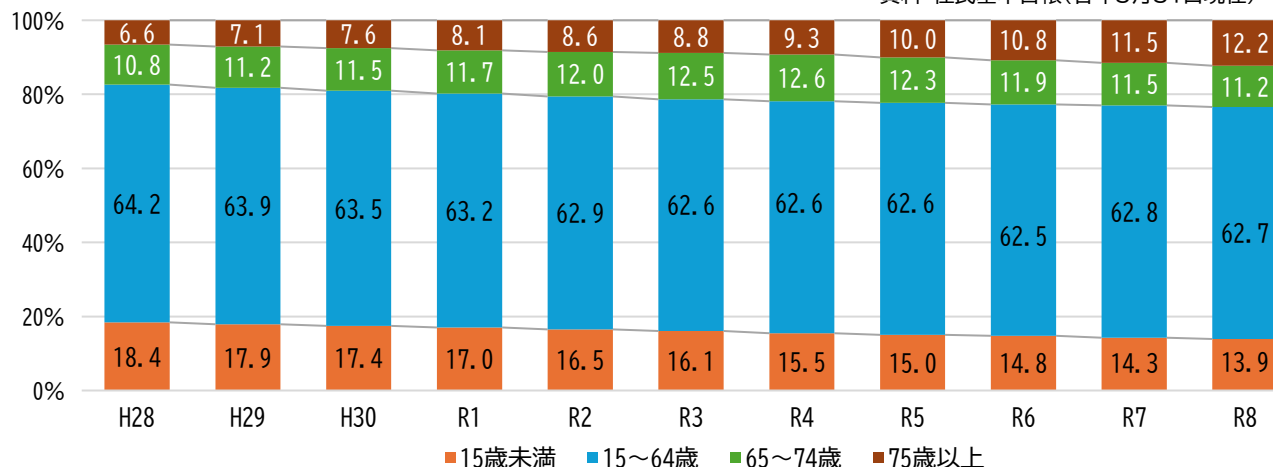
資料:住民基本台帳(各年3月31日現在)



総人口は横ばいで推移。年齢区分で見ると、年少人口(15歳未満)及び生産年齢人口(15~64歳)は減少傾向にある。高齢者人口(65歳以上)は増加傾向であり、特に75歳以上の後期高齢者が増加している。

■年齢4区分別人口割合

資料:住民基本台帳(各年3月31日現在)



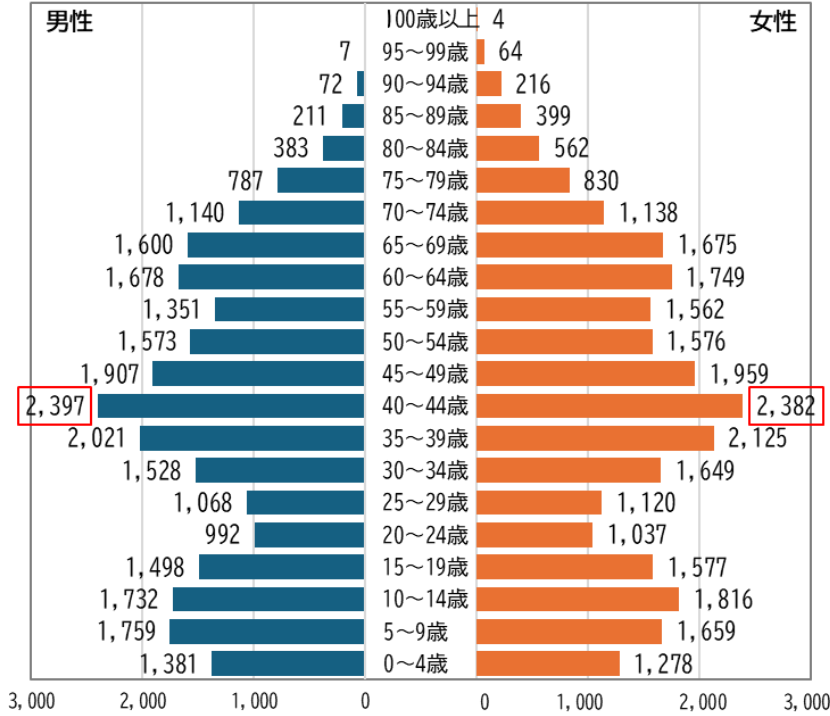
平成28年当時は、年少人口割合が18.4%と高齢者人口割合(17.4%)を上回っていたが、翌年以降逆転し、令和7年では高齢者人口割合(23.0%)が年少人口割合(14.3%)の1.6倍となっている。

1.人口の推移(総人口、年齢4区分、割合)

■人口構成ピラミッド

【平成27年10月1日現在】

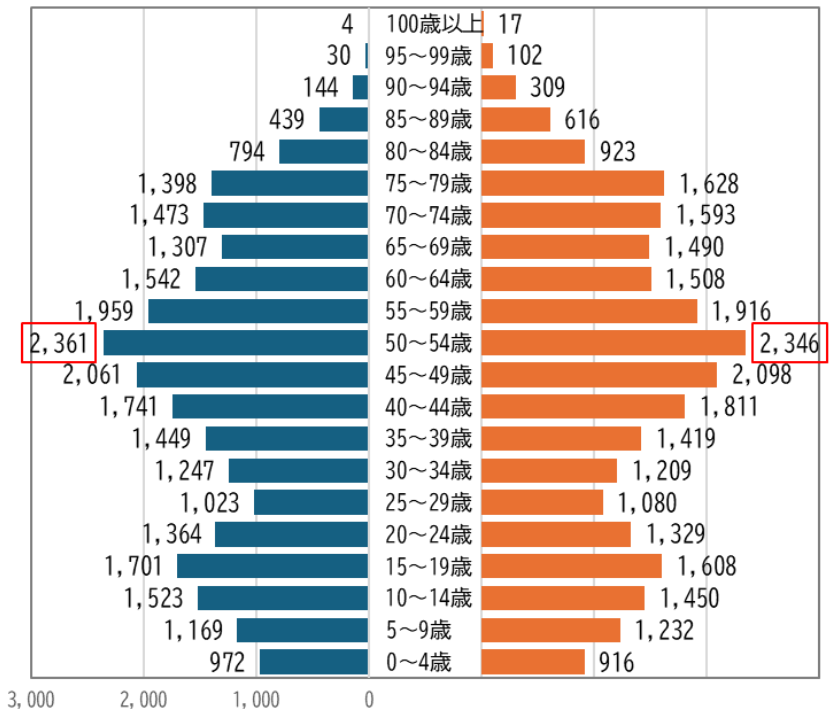
(単位：人)



【資料：国勢調査(平成27年10月1日現在)】

	年齢	計	区分計
高齢人口	100歳以上	4	9,088
	95～99歳	71	
	90～94歳	288	
	85～89歳	610	
	80～84歳	945	
	75～79歳	1,617	
	70～74歳	2,278	
	65～69歳	3,275	
生産人口	60～64歳	3,427	32,749
	55～59歳	2,913	
	50～54歳	3,149	
	45～49歳	3,866	
	40～44歳	4,779	
	35～39歳	4,146	
	30～34歳	3,177	
	25～29歳	2,188	
	20～24歳	2,029	
	15～19歳	3,075	
年少人口	10～14歳	3,548	9,625
	5～9歳	3,418	
	0～4歳	2,659	
合計		51,462	51,462

【令和8年3月31日現在】



【資料：住民基本台帳(令和8年3月31日現在)】

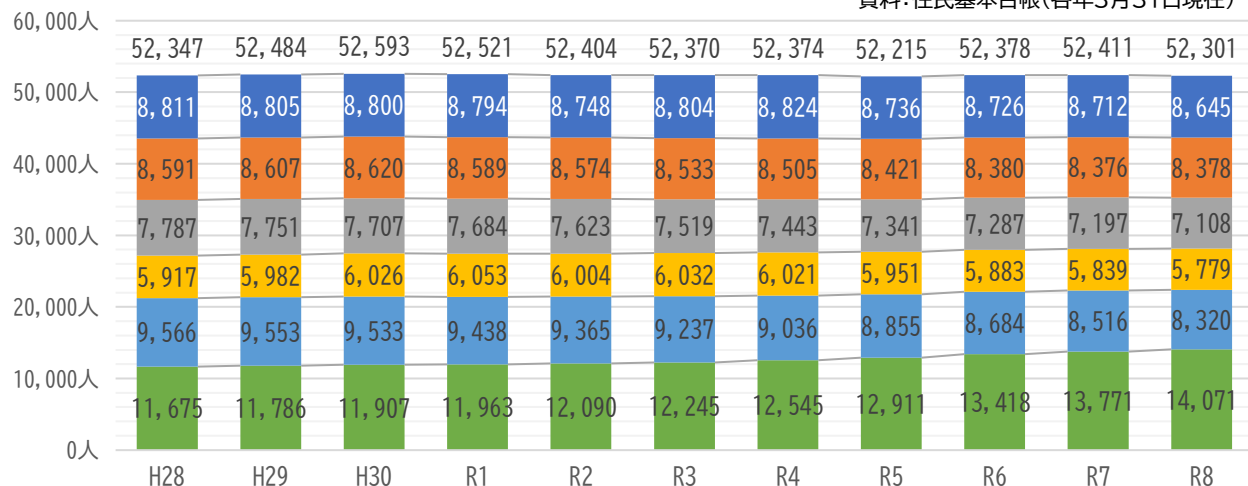
	年齢	計	区分計
高齢人口	100歳以上	21	12,267
	95～99歳	132	
	90～94歳	453	
	85～89歳	1,055	
	80～84歳	1,717	
	75～79歳	3,026	
	70～74歳	3,066	
	65～69歳	2,797	
生産人口	60～64歳	3,050	32,772
	55～59歳	3,875	
	50～54歳	4,707	
	45～49歳	4,159	
	40～44歳	3,552	
	35～39歳	2,868	
	30～34歳	2,456	
	25～29歳	2,103	
	20～24歳	2,693	
	15～19歳	3,309	
年少人口	10～14歳	2,973	7,262
	5～9歳	2,401	
	0～4歳	1,888	
合計		52,301	52,301

年代別(5歳毎)にみると団塊ジュニア世代(45歳～54歳)が男女とも最も多い。団塊世代(S22～S24生まれ)が全て75歳以上となり、100歳以上の方が21名となっている。

2.地区別人口の推移(人口、割合)

■地区別人口の推移※市民センター区別(6箇所)に集計

資料:住民基本台帳(各年3月31日現在)



■ 東向陽台・明石台 ■ 成田 ■ 日吉台・杜乃橋
■ 熊谷・とちの木・あけの平・大清水 ■ 富ヶ丘・鷹乃杜・上桜木 ■ 富谷・ひより台・太子堂

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
東向陽台・明石台	11,675	11,786	11,907	11,963	12,090	12,245	12,545	12,911	13,418	13,771	14,071
成田	9,566	9,553	9,533	9,438	9,365	9,237	9,036	8,855	8,684	8,516	8,320
日吉台・杜乃橋	5,917	5,982	6,026	6,053	6,004	6,032	6,021	5,951	5,883	5,839	5,779
熊谷・とちの木・あけの平・大清水	7,787	7,751	7,707	7,684	7,623	7,519	7,443	7,341	7,287	7,197	7,108
富ヶ丘・鷹乃杜・上桜木	8,591	8,607	8,620	8,589	8,574	8,533	8,505	8,421	8,380	8,376	8,378
富谷・ひより台・太子堂	8,811	8,805	8,800	8,794	8,748	8,804	8,824	8,736	8,726	8,712	8,645
合計	52,347	52,484	52,593	52,521	52,404	52,370	52,374	52,215	52,378	52,411	52,301

■地区別人口割合の推移※市民センター区別(6箇所)に集計

資料:住民基本台帳(各年3月31日現在)



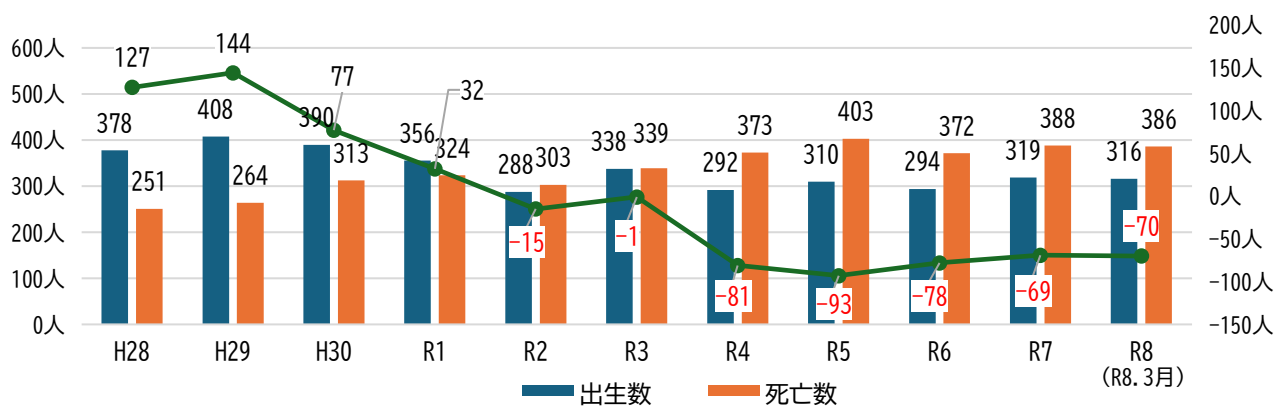
■ 東向陽台・明石台 ■ 成田 ■ 日吉台・杜乃橋
■ 熊谷・とちの木・あけの平・大清水 ■ 富ヶ丘・鷹乃杜・上桜木 ■ 富谷・ひより台・太子堂

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
東向陽台・明石台	22.3	22.5	22.6	22.8	23.1	23.4	24.0	24.7	25.6	26.3	26.9
成田	18.3	18.2	18.1	18.0	17.9	17.6	17.3	17.0	16.6	16.2	15.9
日吉台・杜乃橋	11.3	11.4	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.4	11.2	11.1	11.0
熊谷・とちの木・あけの平・大清水	14.9	14.8	14.7	14.6	14.5	14.4	14.2	14.1	13.9	13.7	13.6
富ヶ丘・鷹乃杜・上桜木	16.4	16.4	16.4	16.4	16.4	16.3	16.2	16.1	16.0	16.0	16.0
富谷・ひより台・太子堂	16.8	16.8	16.7	16.7	16.7	16.8	16.8	16.7	16.7	16.6	16.5

3.自然動態・社会動態の推移

■自然動態の推移

資料：住民基本台帳（各年12月末現在）



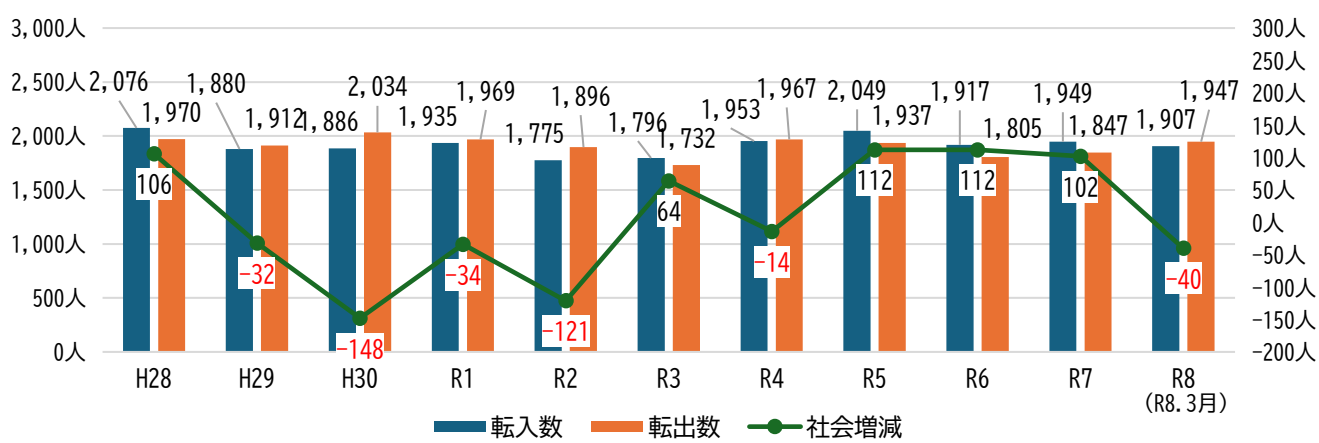
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
出生数	378	408	390	356	288	338	292	310	294	319	316
死亡数	251	264	313	324	303	339	373	403	372	388	386
自然増減	127	144	77	32	-15	-1	-81	-93	-78	-69	-70

自然動態については平成30年までは出生数が増加傾向で推移していたが、令和元年度をピークに令和2年以降、減少傾向となっている。

3.自然動態・社会動態の推移

■社会動態の推移

資料：住民基本台帳（各年12月末現在）



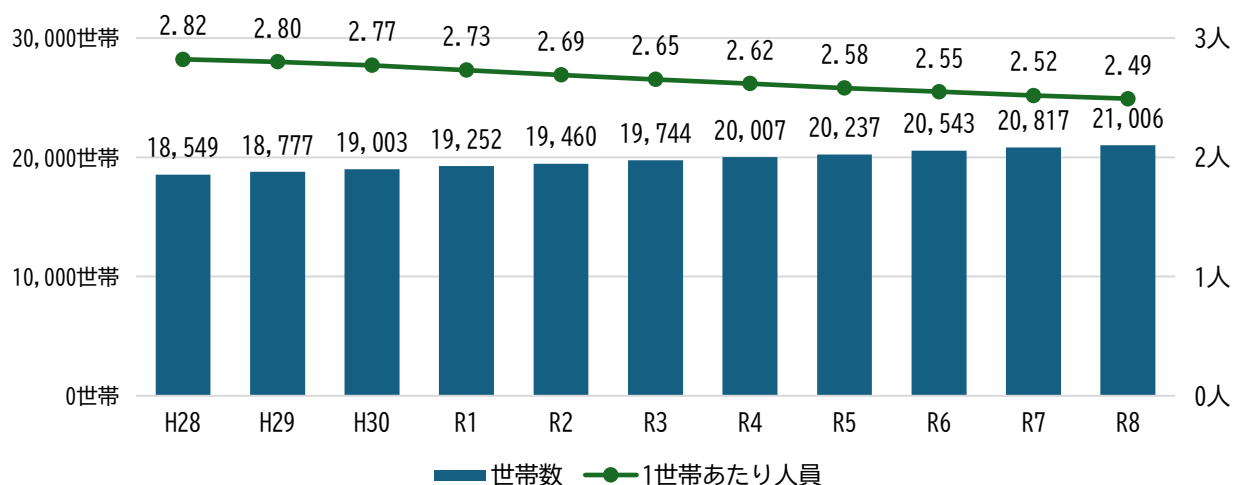
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
転入数	2,076	1,880	1,886	1,935	1,775	1,796	1,953	2,049	1,917	1,949	1,907
転出数	1,970	1,912	2,034	1,969	1,896	1,732	1,967	1,937	1,805	1,847	1,947
社会増減	106	-32	-148	-34	-121	64	-14	112	112	102	-40

社会動態については、年々、転入者・転出者とも増減しているが、令和5年より転入者が増加傾向。自然動態と社会動態を併せた動態合計を見ると、令和5年より増加傾向で推移している。

4.世帯数・1世帯当たり人員の推移

■世帯数・1世帯当たり人員の推移

資料：住民基本台帳（各年3月31日現在）



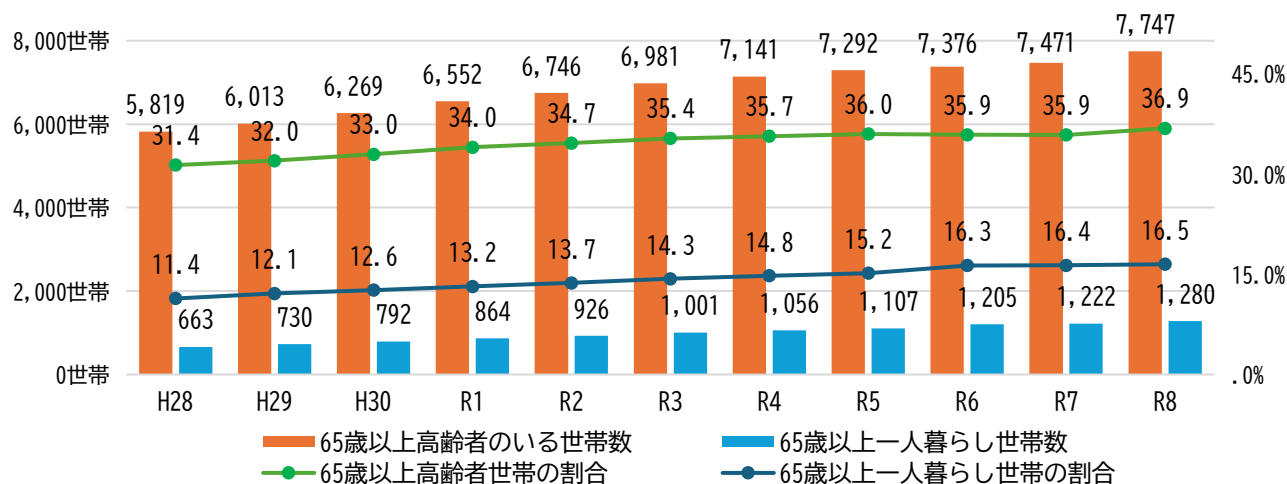
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
世帯数	18,549	18,777	19,003	19,252	19,460	19,744	20,007	20,237	20,543	20,817	21,006
1世帯あたり人員	2.82	2.80	2.77	2.73	2.69	2.65	2.62	2.58	2.55	2.52	2.49

世帯数は年々増加傾向で推移しているが、1世帯当たり人員は年々減少傾向で推移している。単身世帯や高齢者世帯（特に高齢者2人暮らし世帯）の増加などが要因の一つと推測される。

5.高齢者世帯数の推移（在宅）

■高齢者世帯数・高齢者世帯割合の推移（在宅）

資料：宮城県高齢者人口調査、市資料（各年3月31日現在）



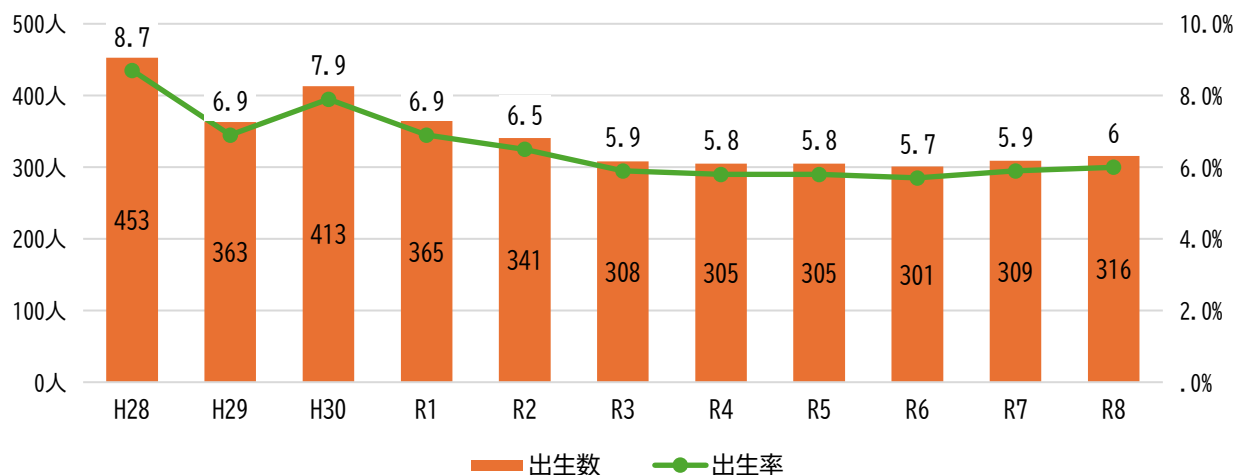
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
65歳以上高齢者のいる世帯数	5,819	6,013	6,269	6,552	6,746	6,981	7,141	7,292	7,376	7,471	7,747
65歳以上高齢者世帯の割合	31.4	32.0	33.0	34.0	34.7	35.4	35.7	36.0	35.9	35.9	36.9
65歳以上一人暮らし世帯数	663	730	792	864	926	1,001	1,056	1,107	1,205	1,222	1,280
65歳以上一人暮らし世帯の割合	11.4	12.1	12.6	13.2	13.7	14.3	14.8	15.2	16.3	16.4	16.5

高齢者世帯数は年々増加傾向で推移している。一人暮らし世帯数は、平成28年と比べ1.8倍（1,222人）と、高齢化の進展により今後とも増加傾向で推移するものと推測。

6.出生数と出生率の推移

■出生数と出生率の推移

資料:住民基本台帳(各年3月31日現在)



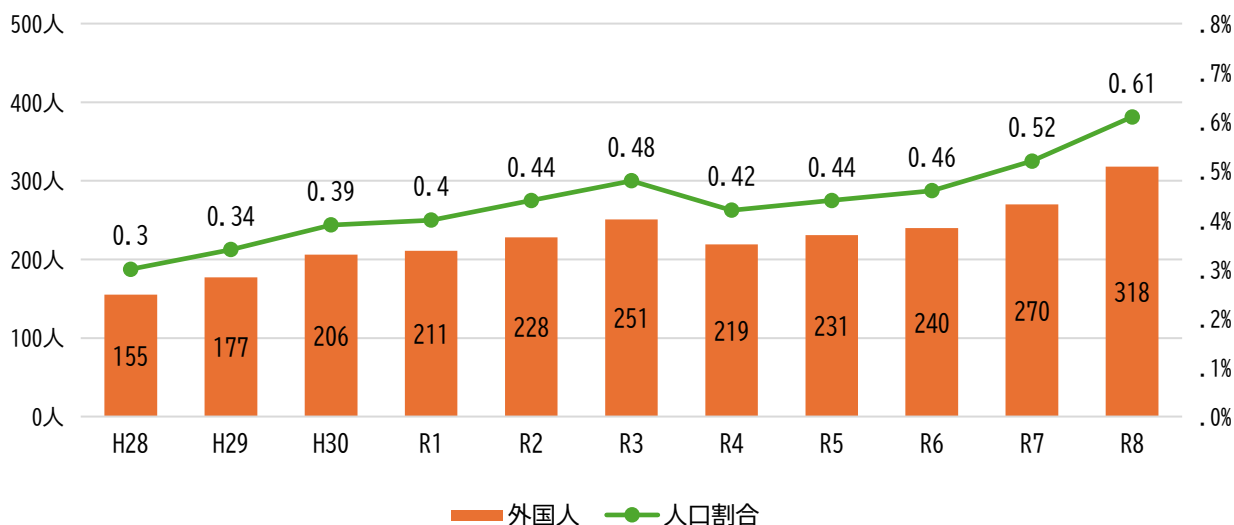
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
出生数	453	363	413	365	341	308	305	305	301	309	316
出生率	8.7	6.9	7.9	6.9	6.5	5.9	5.8	5.8	5.7	5.9	6.0

出生数は平成28年と平成30年に400人を上回っていたが、令和3年以降は約300人と横ばいで推移している。総人口に占める出生率(出生数/総人口)の割合も比例して同様の傾向で推移している。

7.外国人住民人口の推移

■外国人住民人口の推移

資料:住民基本台帳(各年3月31日現在)



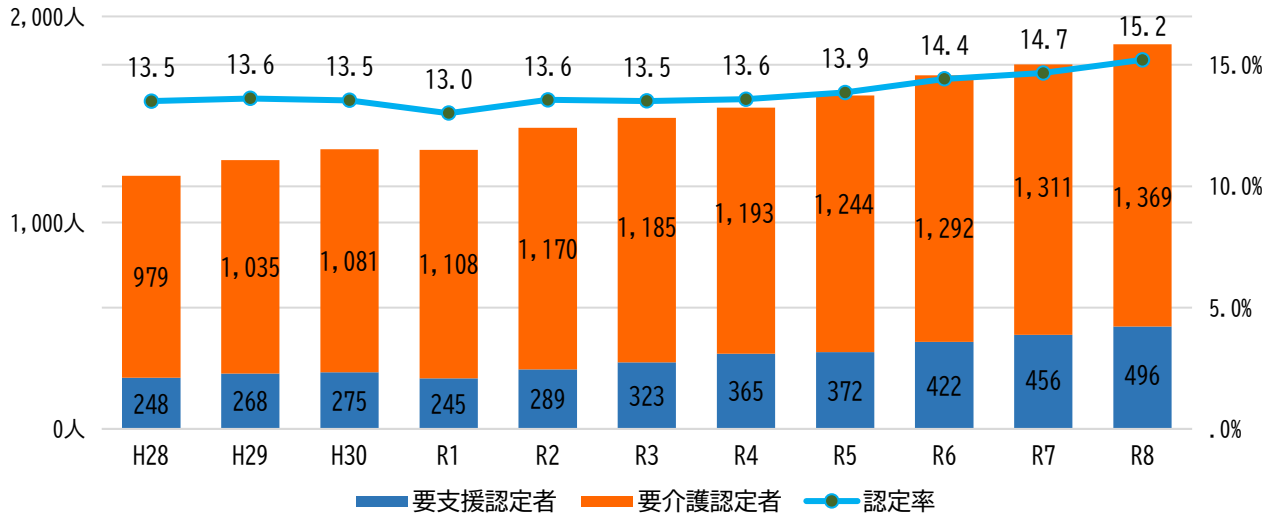
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
外国人	155	177	206	211	228	251	219	231	240	270	318
人口割合	0.30	0.34	0.39	0.40	0.44	0.48	0.42	0.44	0.46	0.52	0.61

外国人住民人口は年々増加傾向で推移しており、外国人人口割合も同様の傾向となっている。

8.要支援・要介護認定者数の推移

■要支援・要介護者数の推移

資料：行政実績報告書（各年3月31日現在）



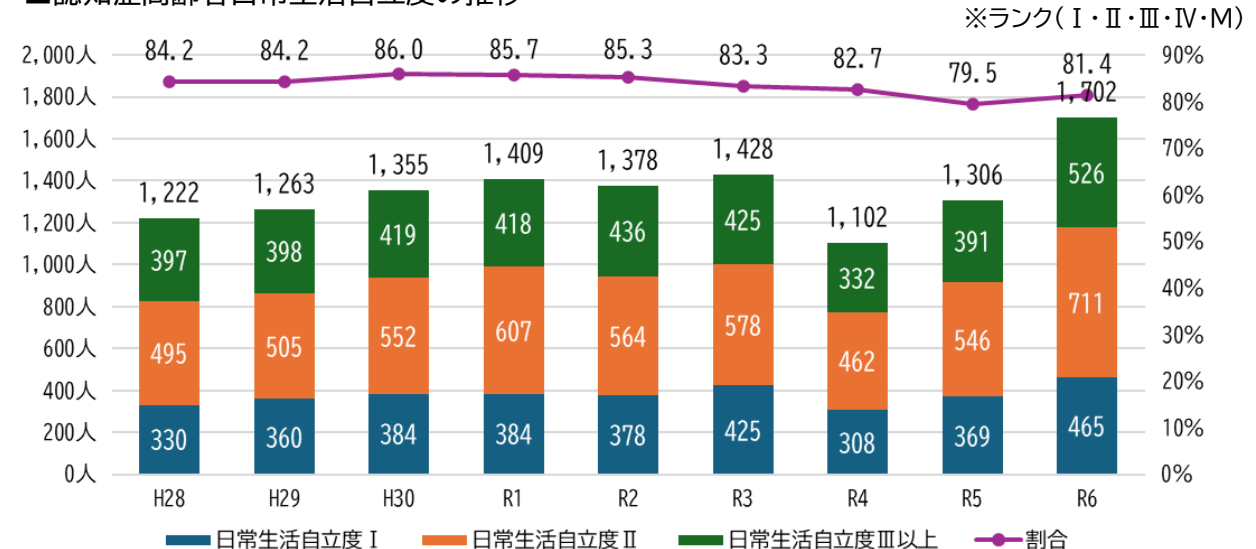
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
要支援認定者	248	268	275	245	289	323	365	372	422	456	496
要介護認定者	979	1,035	1,081	1,108	1,170	1,185	1,193	1,244	1,292	1,311	1,369
合計	1,227	1,303	1,356	1,353	1,459	1,508	1,558	1,616	1,714	1,767	1,865
認定率	13.5	13.6	13.5	13.0	13.6	13.5	13.6	13.9	14.4	14.7	15.2

要支援(1、2)・要介護(1～5)認定とも認定者数は年々増加傾向で推移している。
認定率はほぼ県内一低い状況であるが、増加傾向で推移している。

9.認知症高齢者日常生活自立度の推移

■認知症高齢者日常生活自立度の推移

資料：厚生労働省「見える化」システム（各年10月1日現在）



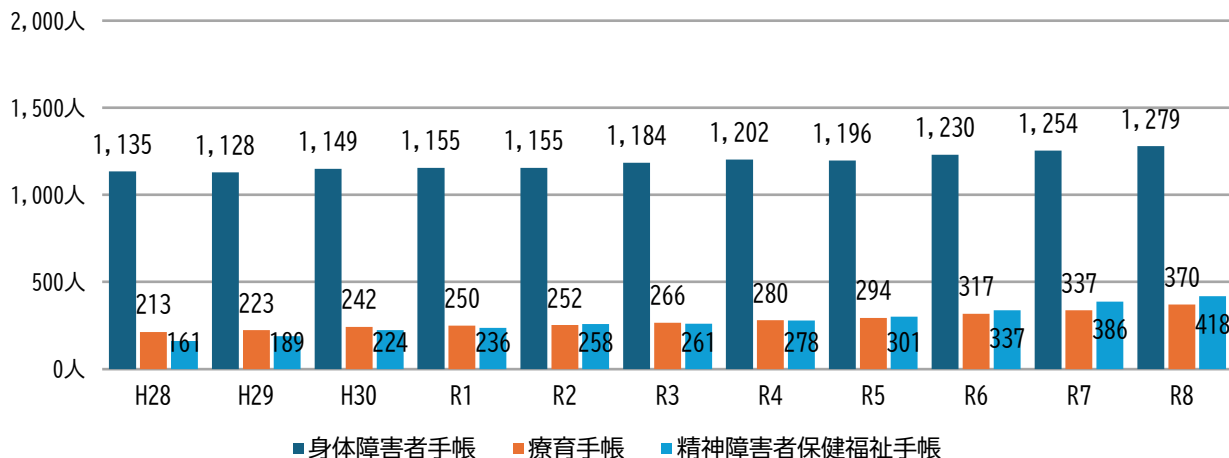
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
日常生活自立度Ⅰ	330	360	384	384	378	425	308	369	465
日常生活自立度Ⅱ	495	505	552	607	564	578	462	546	711
日常生活自立度Ⅲ以上	397	398	419	418	436	425	332	391	526
合計	1,222	1,263	1,355	1,409	1,378	1,428	1,102	1,306	1,702
要介護認定者数	1,451	1,500	1,575	1,645	1,615	1,715	1,333	1,643	2,092
割合	84.2%	84.2%	86.0%	85.7%	85.3%	83.3%	82.7%	79.5%	81.4%

日常生活自立度Ⅰ（何らかの認知症を有するがほぼ自立している方）、Ⅱ（見守り又は支援が必要な方）、Ⅲ（Ⅱ以上で介護が必要な方）を含め、認定者数の8割前後が何らかの認知症を有している。
※令和4年、5年は認定期間特例延長により対象数がカウントされないため減となっている。

10.障害者手帳所持者の推移

■障害者手帳所持者の推移

資料：行政実績報告書(各年3月31日現在)



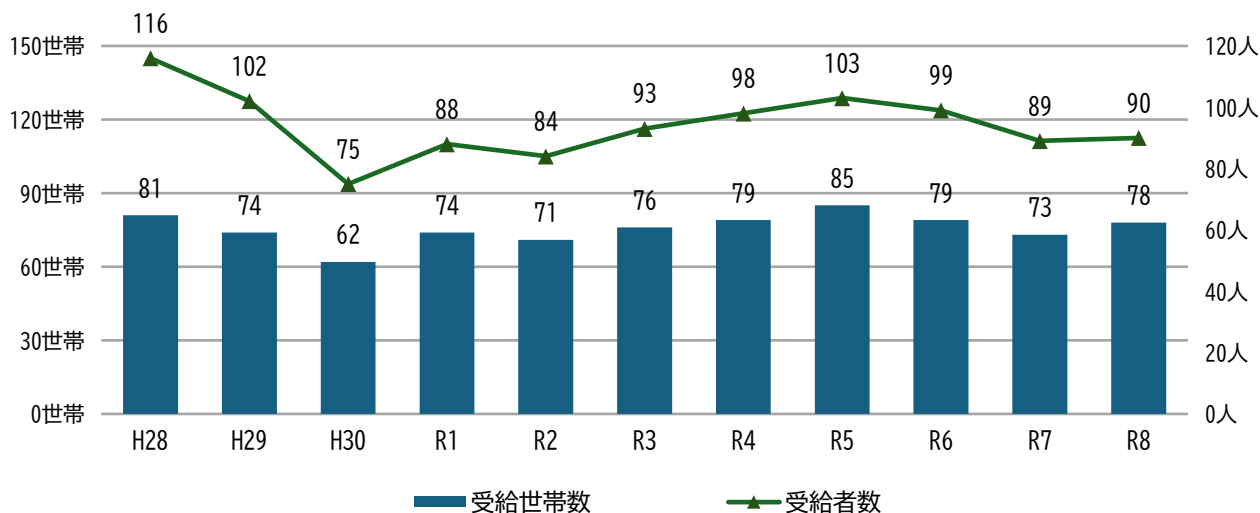
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
身体障害者手帳	1,135	1,128	1,149	1,155	1,155	1,184	1,202	1,196	1,230	1,254	1,279
療育手帳	213	223	242	250	252	266	280	294	317	337	370
精神障害者保健福祉手帳	161	189	224	236	258	261	278	301	337	386	418
総数	1,509	1,540	1,615	1,641	1,665	1,711	1,760	1,791	1,884	1,977	2,067

障害者手帳所持者数は3障害とも年々増加傾向で推移している。
精神障害者福祉手帳所持者数は10年間で2.4倍(225人増加)している。

11.生活保護の推移【生活困窮者自立支援計画】

■生活保護世帯の推移

資料：データで見る富谷(各年3月31日現在)



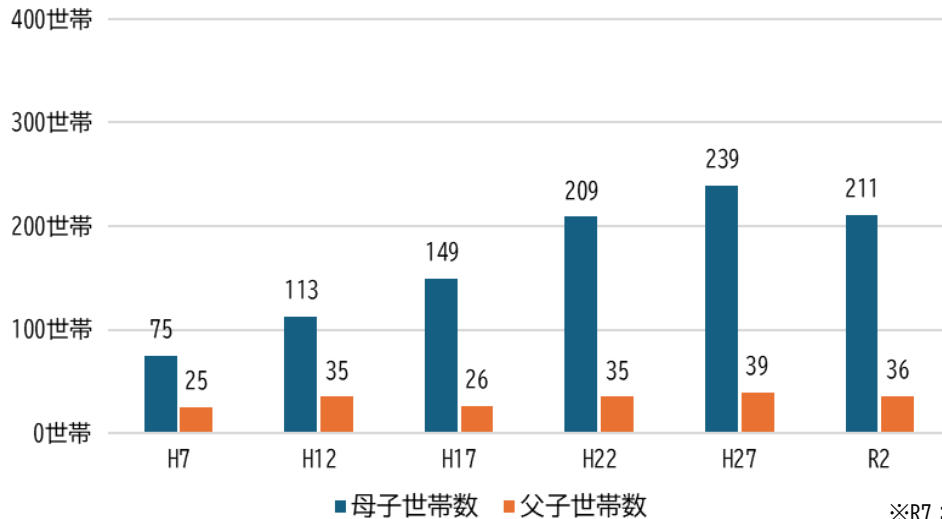
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
受給世帯数	81	74	62	74	71	76	79	85	79	73	78
受給者数	116	102	75	88	84	93	98	103	99	89	90

生活保護世帯数、受給者数とも年々増減を繰り返しているが、ほぼ横ばいで推移している。

12.ひとり親世帯数の推移

■ひとり親世帯数の推移

資料:国勢調査(各年10月1日現在)



※R7: R8.9月公表予定

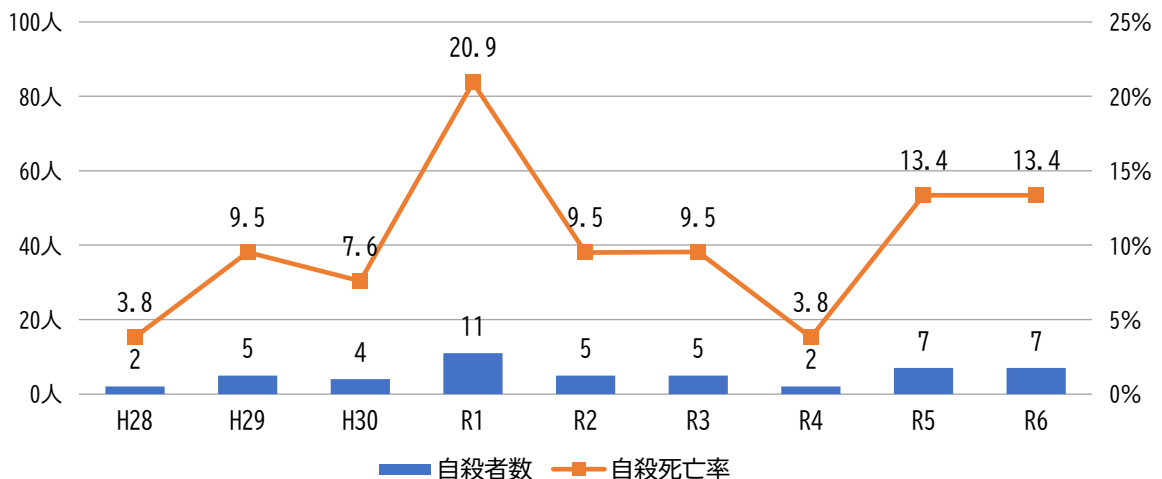
	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7
母子世帯数	75	113	149	209	239	211	-
父子世帯数	25	35	26	35	39	36	-

母子世帯数は平成27年をピークに減少している。
父子世帯数は増加傾向ではあるが、ほぼ横ばいで推移している。

13.自殺者の推移【自死対策計画】

■自殺者の推移

資料:地域における自殺の基礎資料(各年累計)



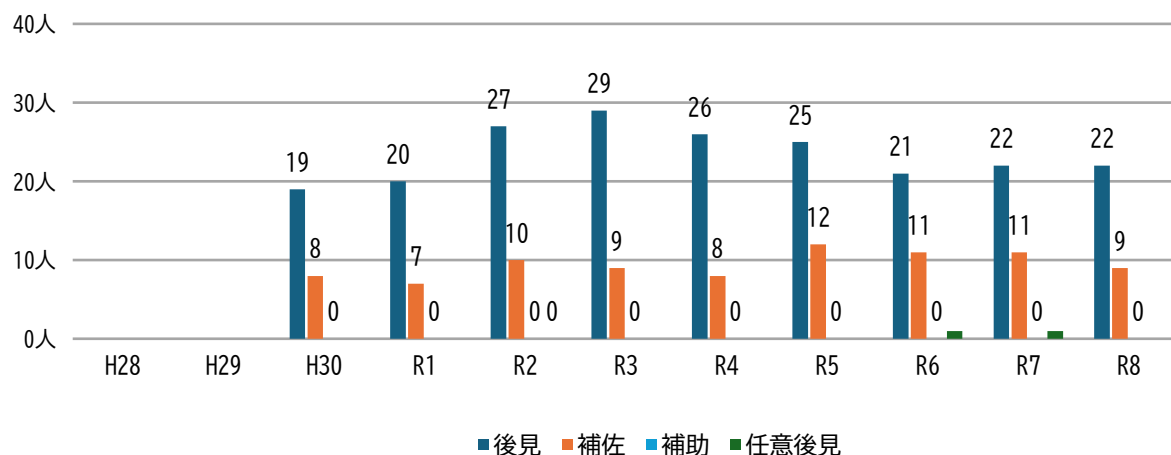
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
自殺者数	2	5	4	11	5	5	2	7	7
自殺死亡率	3.8	9.5	7.6	20.9	9.5	9.5	3.8	13.4	13.4

自殺者数は増減を繰り返しているがほぼ横ばいで推移している。
自殺死亡率(人口10万人あたりの1年間の自殺死亡者数)も同様の傾向となっている。

14.成年後見制度利用者の推移【成年後見制度利用促進計画】

■成年後見制度利用者の推移

資料：仙台家庭裁判所資料(H30.1.4、H31.1.7
R2.1.6 R2.8.3 R3.7.1 R4.10.1 R5.10.1
R6.8.1 現在)



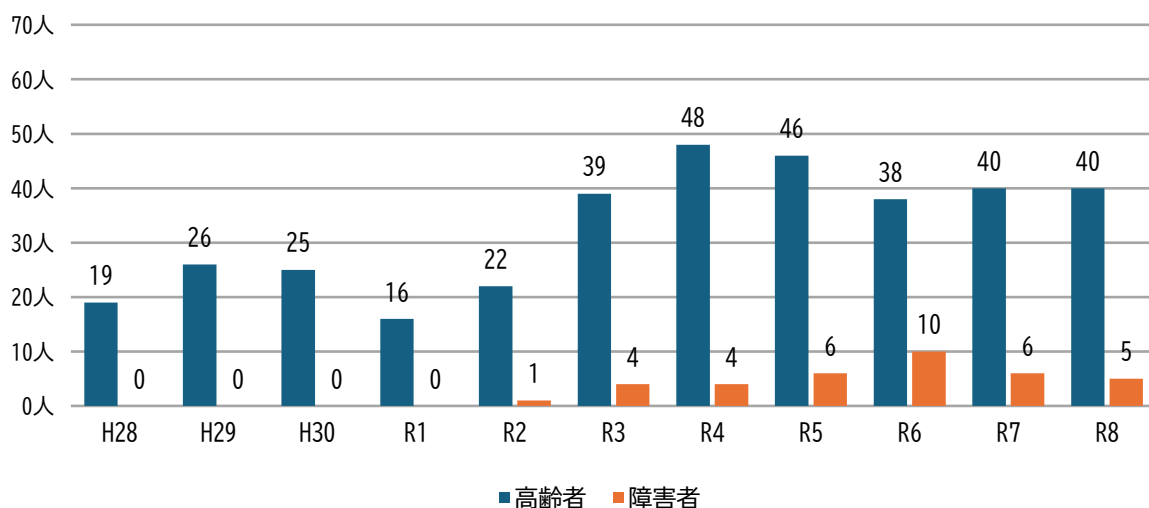
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
後見			19	20	27	29	26	25	21	22	22
補佐			8	7	10	9	8	12	11	11	9
補助			0	0	0	0	0	0	0	0	0
任意後見			0	0	0	0	0	0	1	1	0

成年後見制度の利用数は、後見及び補佐については一定の利用者で推移している。
補助及び任意後見は低調に推移している。

15.高齢者・障害者虐待審議件数の推移【成年後見制度利用促進計画】

■高齢者・障害者虐待審議件数の推移

資料：行政実績報告書(各年3月31日)



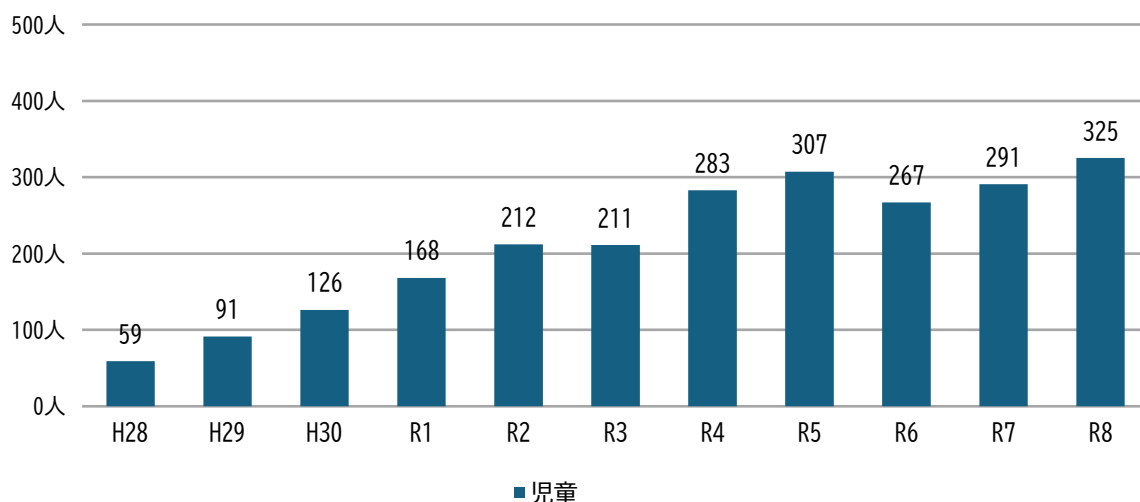
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
高齢者	19	26	25	16	22	39	48	46	38	40	40
障害者	0	0	0	0	1	4	4	6	10	6	5

高齢者虐待審議件数は、令和4年をピークに横ばいで推移している。
障害者虐待審議件数は、令和3年以降横ばいで推移している。

16. 児童虐待相談件数の推移【成年後見制度利用促進計画】

■児童虐待相談件数の推移

資料：行政実績報告書(各年3月31日)



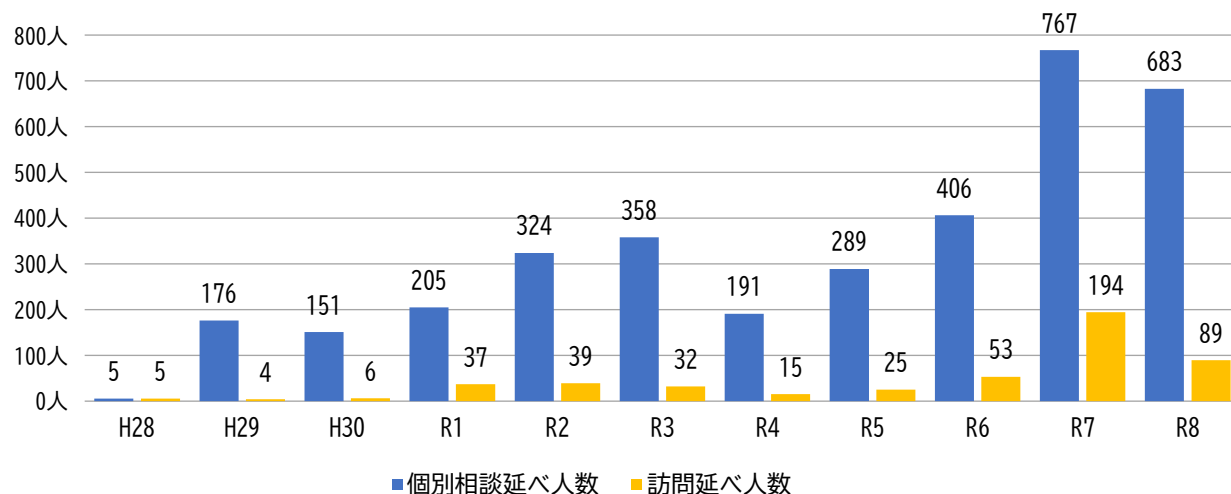
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
児童	59	91	126	168	212	211	283	307	267	291	325

児童虐待相談件数は年々増加傾向で推移し、11年間で5.5倍(266人増加)となっている。

17. 権利擁護関連の相談・訪問件数の推移【成年後見制度利用促進計画】

■地域包括支援センターにおける権利擁護関連の相談・訪問件数の推移

資料：行政実績報告書(各年3月31日)



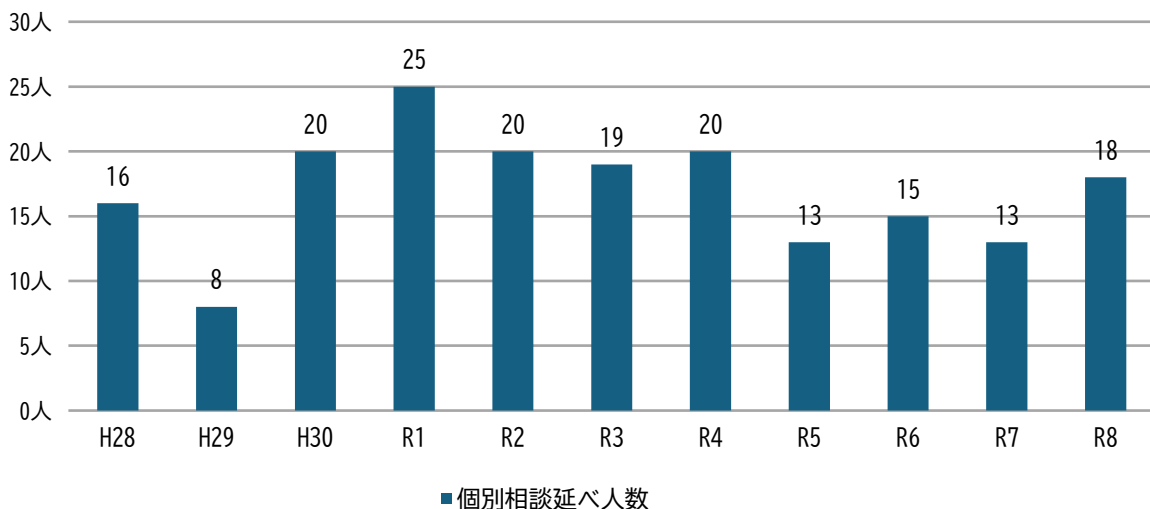
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
個別相談延べ人数	5	176	151	205	324	358	191	289	406	767	683
訪問延べ人数	5	4	6	37	39	32	15	25	53	194	89
合計	10	180	157	242	363	390	206	314	459	961	772

権利擁護関連の個別相談延べ人数、訪問延べ人数とも増加傾向で推移。特に令和7年は、個別相談が前年比1.8倍(767人)、訪問が前年比3.6倍(141人増加)となっている。

18.DV相談件数の推移

■DV相談件数の推移

資料：市資料（各年3月31日現在）



■個別相談延べ人数

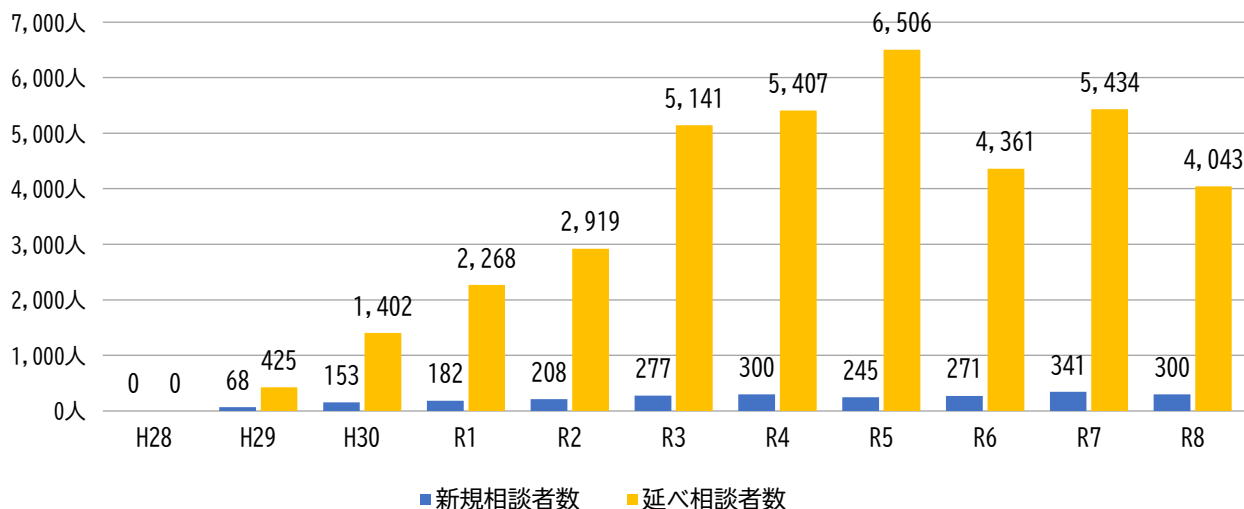
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
個別相談延べ人数	16	8	20	25	20	19	20	13	15	13	18

DV相談件数は、年々増減はあるもののほぼ横ばいで推移している。

19.自立相談支援センターの相談件数の推移【生活困窮者自立支援計画】

■生活困窮者自立相談支援センターの相談件数の推移※H28.10開設

資料：行政実績報告書（各年3月31日）



■新規相談者数 ■延べ相談者数

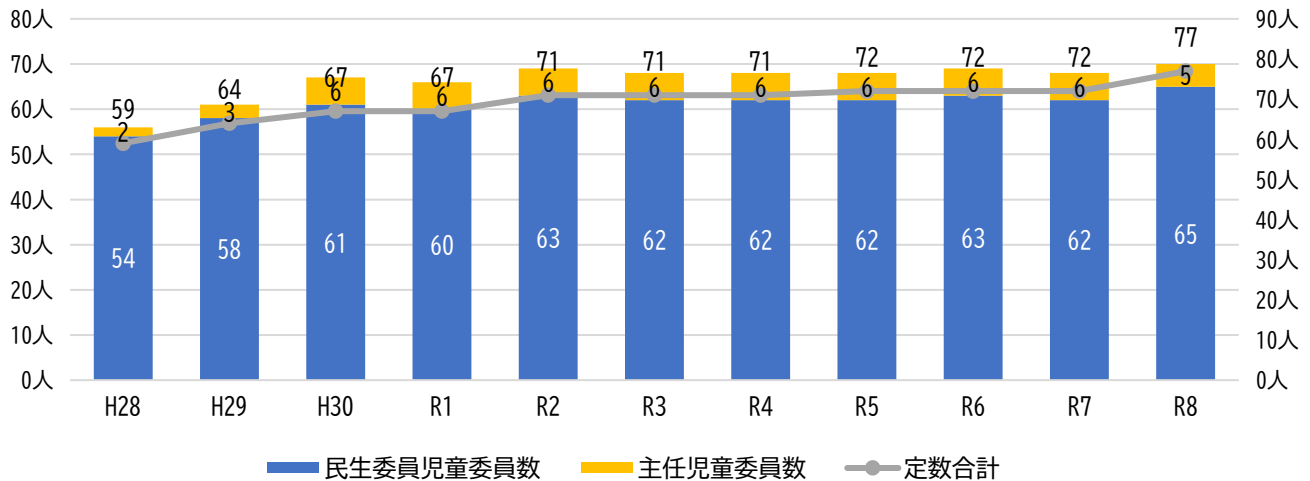
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
新規相談者数	-	68	153	182	208	277	300	245	271	341	300
延べ相談者数	-	425	1,402	2,268	2,919	5,141	5,407	6,506	4,361	5,434	4,043
合計	0	493	1,555	2,450	3,127	5,418	5,707	6,751	4,632	5,775	4,343

生活困窮者自立相談支援センターの新規相談者数及び延べ相談者数は年々増加傾向で推移している。

20.民生委員・児童委員(主任児童委員)の推移

■民生委員・児童委員(主任児童委員)の推移

資料:行政実績報告書(各年3月31日)



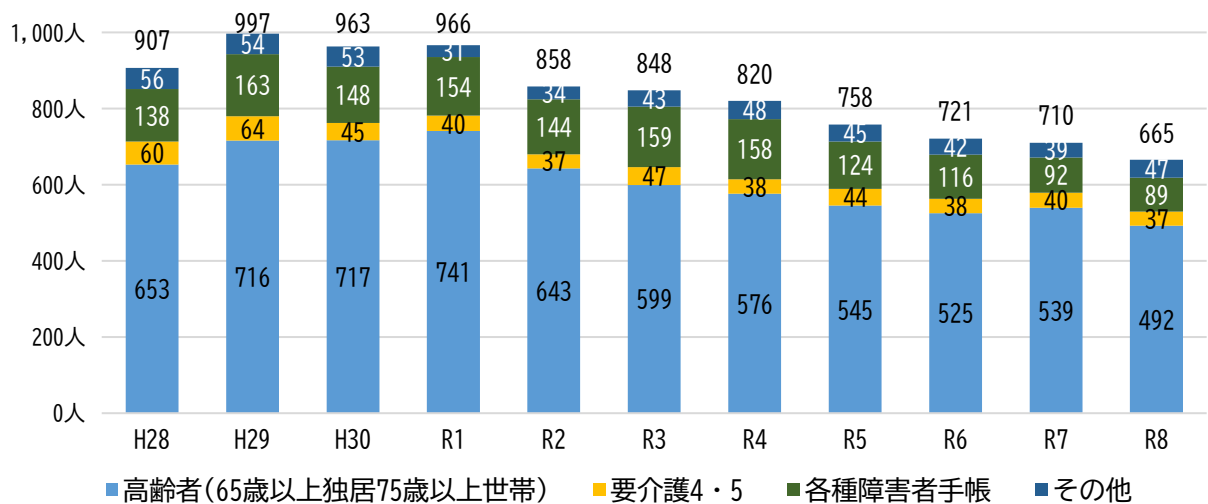
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
民生委員児童委員数	54	58	61	60	63	62	62	62	63	62	65
主任児童委員数	2	3	6	6	6	6	6	6	6	6	5
定数合計	59	64	67	67	71	71	71	72	72	72	77

民生委員・児童委員(主任児童委員含む)定数は、一斉改選(3年に一度)に併せて増員している。
定数充足率を見ると、95%~100%代で推移している。

21.避難行動要支援者名簿登録者の推移

■避難行動要支援者名簿登録者の推移

資料:行政実績報告書(各年3月31日)



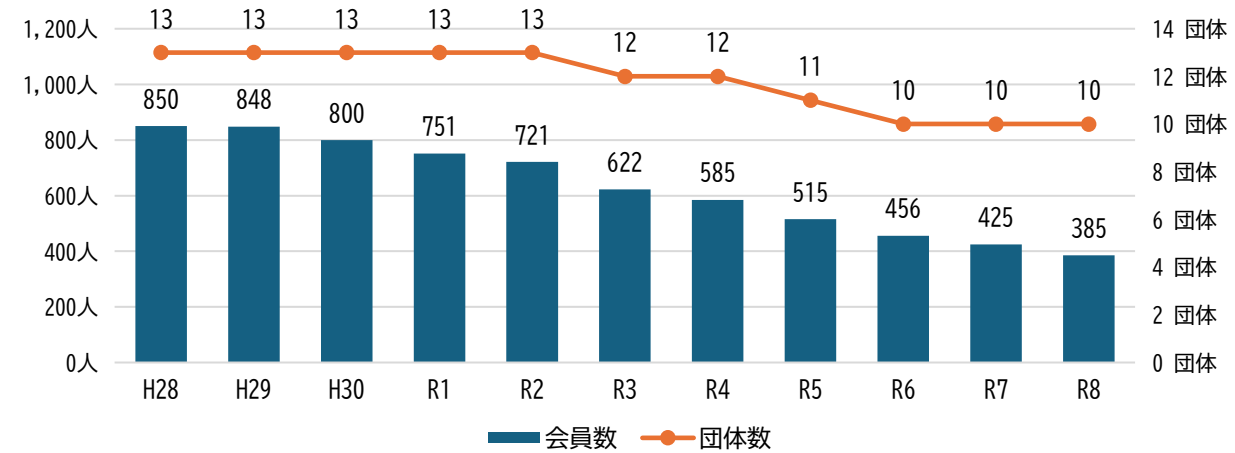
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
高齢者(65歳以上独居75歳以上世帯)	653	716	717	741	643	599	576	545	525	539	492
要介護4・5	60	64	45	40	37	47	38	44	38	40	37
各種障害者手帳	138	163	148	154	144	159	158	124	116	92	89
その他	56	54	53	31	34	43	48	45	42	39	47
登録者合計	907	997	963	966	858	848	820	758	721	710	665

名簿登録者数は平成29年をピークに減少傾向で推移し、令和6年、7年は横ばいとなっている。

22.老人クラブ会員数の推移

■老人クラブ会員数の推移

資料：行政実績報告書(各年3月31日)



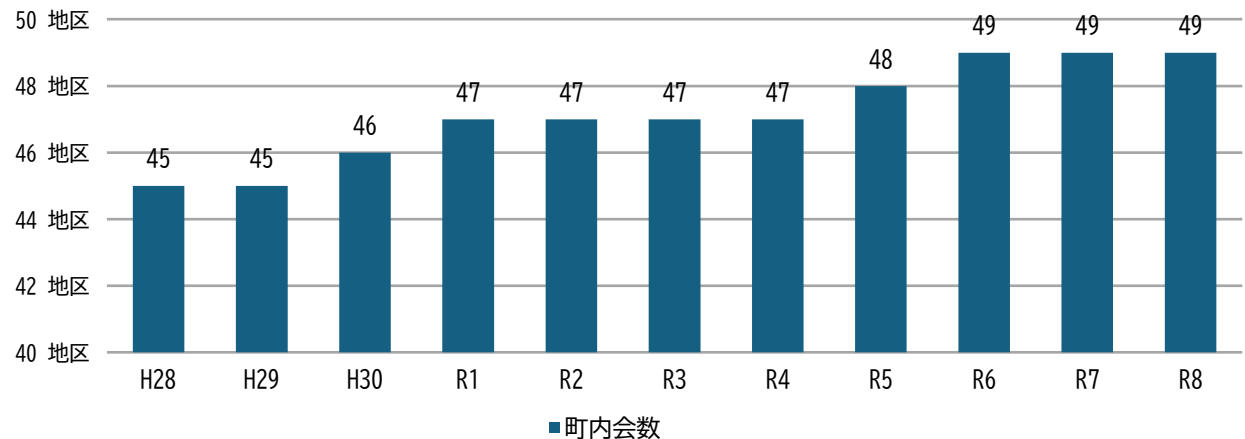
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
会員数	850	848	800	751	721	622	585	515	456	425	385
団体数	13	13	13	13	13	12	12	11	10	10	10

老人クラブ会員数、団体数とも年々減少傾向となっている。
特に老人クラブ会員数は平成28年と比べ、令和7年は50%(△425人)と半減している。

23.町内会の推移

■町内会の推移

資料：富谷市行政区長に関する規則他(各年3月31日現在)



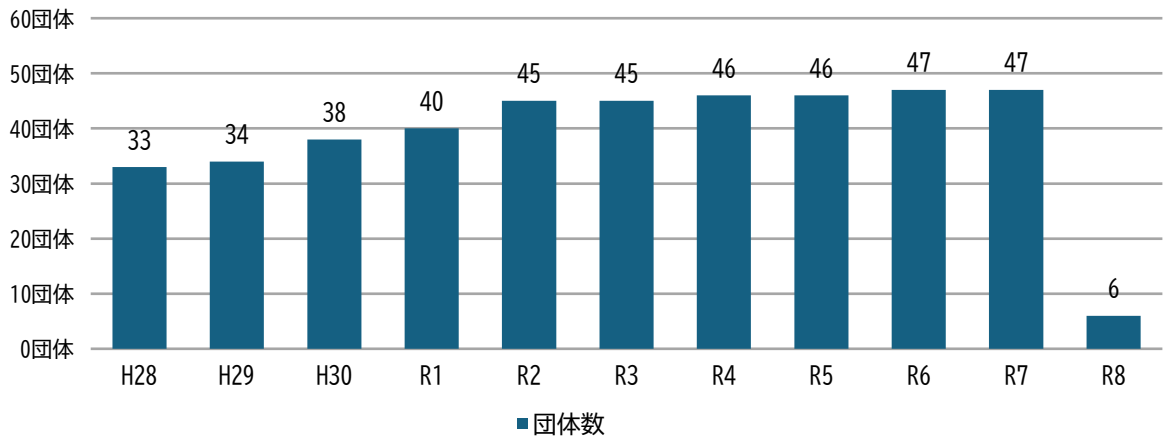
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
町内会数	45	45	46	47	47	47	47	48	49	49	49

町内会の地区数は住宅地開発や居住環境に併せて設立しており、増加傾向となっている。

24.市民活動団体数の推移

■市民活動団体数の推移※ホームページ公表団体のみ

資料：市資料(各年3月31日現在)



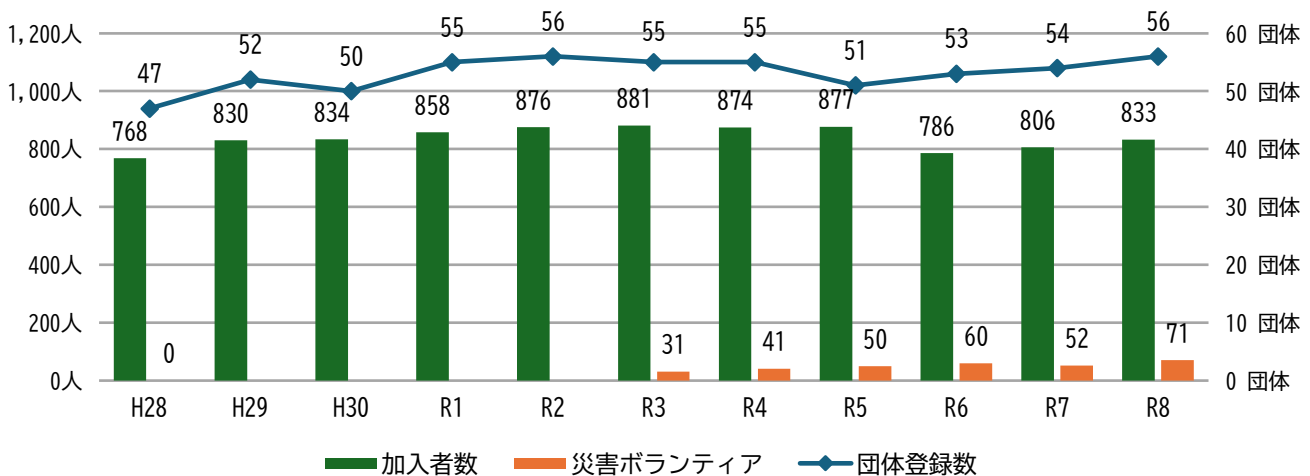
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
団体数	33	34	38	40	45	45	46	46	47	47	6

市民活動団体数は、平成29年以降、年々増加傾向で推移していたが、令和2年以降は横ばいで推移している。令和8年4月より「公民館」が「市民センター」化することに伴い、R8年3月以降改めて登録団体を募ったところ、6団体のみの登録となった。

25.ボランティア数の推移

■ボランティア数の推移※ボランティアセンター登録者数

資料：富谷市社会福祉協議会(各年3月31日)



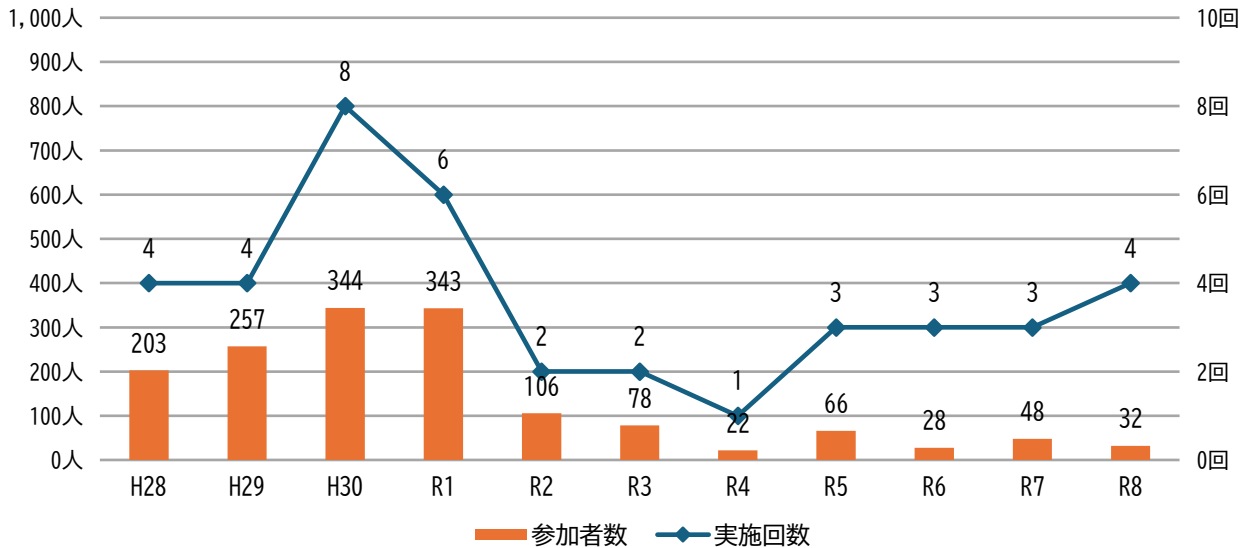
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
団体登録数	47	52	50	55	56	55	55	51	53	54	56
加入者数	768	830	834	858	876	881	874	877	786	806	833
災害ボランティア						31	41	50	60	52	71

ボランティア団体登録者数・加入者数ともに横ばいで推移している。
令和2年に新たに設置された災害ボランティア数についてはR4以降、ほぼ横ばいで推移している。

26.地域サポーター養成研修の推移

■地域サポーター養成研修の推移

資料：行政実績報告書、市資料（各年3月31日現在）



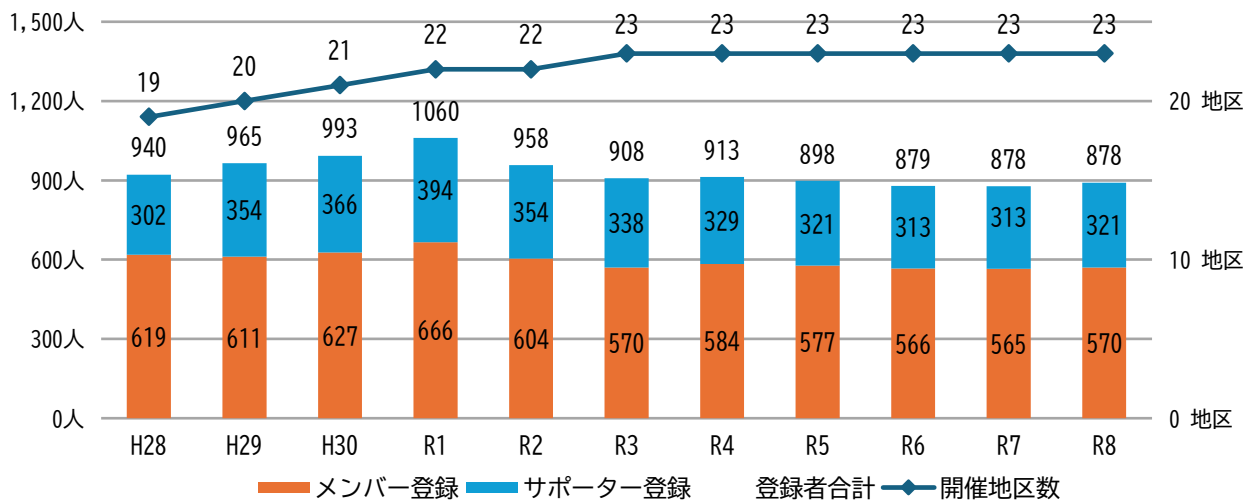
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実施回数	4	4	8	6	2	2	1	3	3	3	4
参加者数	203	257	344	343	106	78	22	66	28	48	32

研修体制を変更しながら実施しており、参加者数は増減している。令和5年度より、サポーターを希望の活動場所につなぐ体制をとり、サポーター活動につながるよう支援している。

27.ゆとりすとクラブ・サロン事業の推移

■ゆとりすとクラブ・サロン事業の推移

資料：行政実績報告書（各年3月31日）



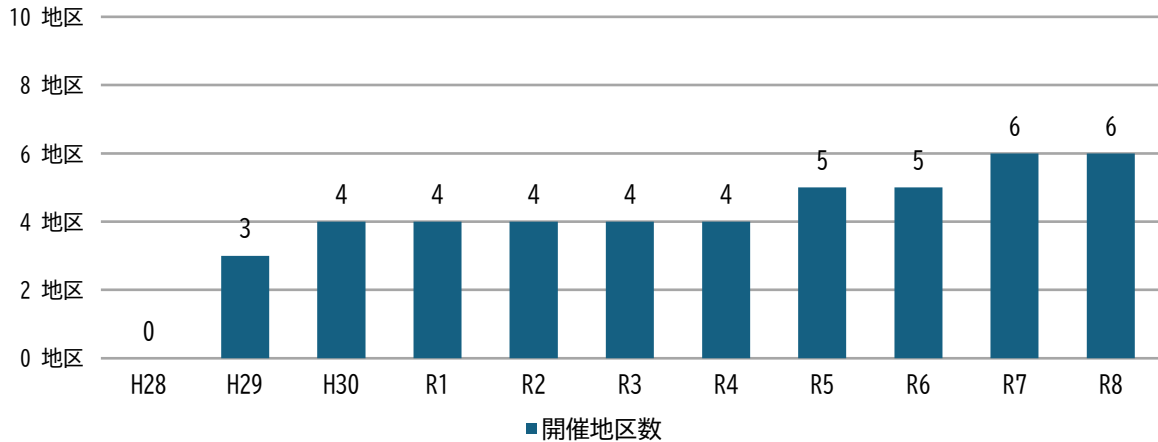
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
開催地区数	19	20	21	22	22	23	23	23	23	23	23
メンバー登録	619	611	627	666	604	570	584	577	566	565	570
サポーター登録	302	354	366	394	354	338	329	321	313	313	321
登録者合計	940	965	993	1060	958	908	913	898	879	878	878

ゆとりすとクラブ・サロンの開催地区は横ばいで推移している。
メンバー及びサポーター登録数は年々減少傾向で推移している。

28.街かどカフェ事業の推移

■街かどカフェ事業の推移※H28.10設立

資料：行政実績報告書(各年3月31日)



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
開催地区数	0	3	4	4	4	4	4	5	5	6	6

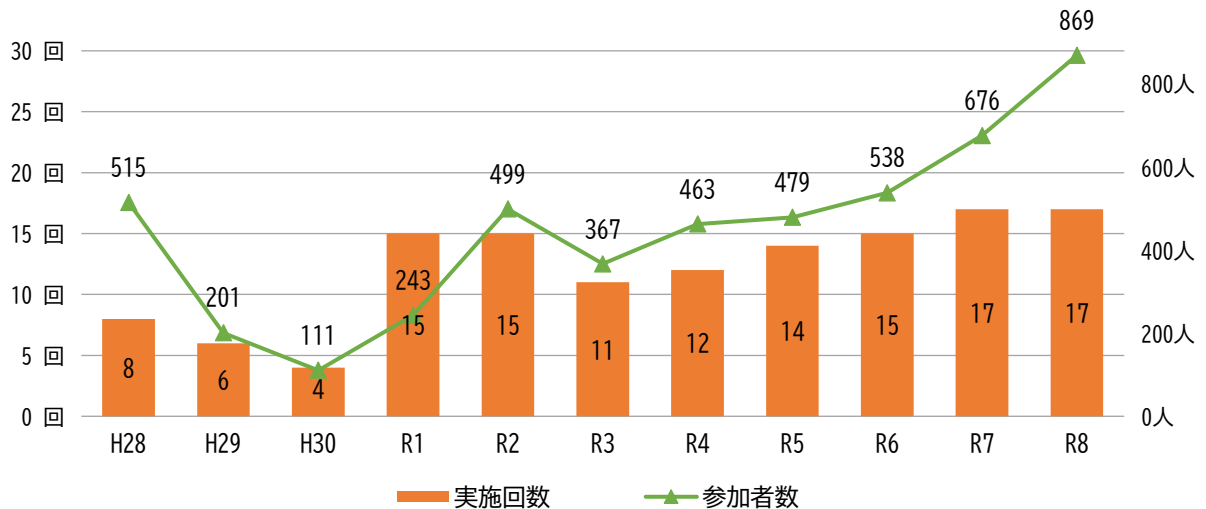
街かどカフェの設置数は増加傾向で推移している。

No.	団体名	時期
1	街かどカフェいこい(富ヶ丘南部)	H28. 10～
2	街かどカフェ縁が輪(富ヶ丘北部)	H28. 10～
3	鷹乃杜街かどカフェ	H28. 10～
4	街かどカフェ七ツ森(ひより台一丁目)	H30. 6～
5	明石台2丁目街かどカフェ(明石台第二)	H5. 5～
6	成田サードカフェ(成田第三)	H6. 11～

29.認知症学びの講座(認知症サポーター養成講座)の推移

■認知症学びの講座(認知症サポーター養成講座)の推移

資料：行政実績報告書(各年3月31日)



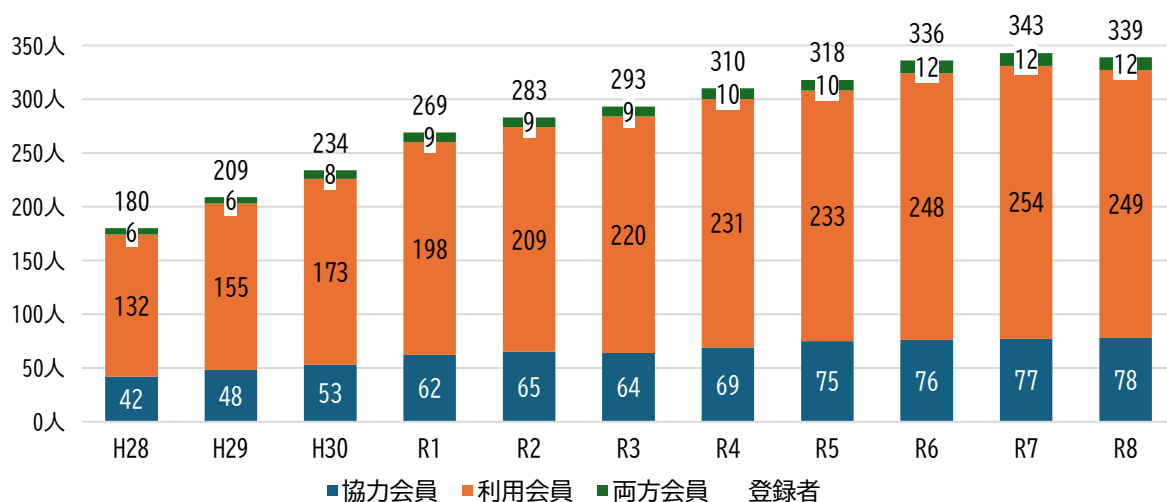
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実施回数	8	6	4	15	15	11	12	14	15	17	17
参加者数	515	201	111	243	499	367	463	479	538	676	869

平成24年度から実施。地域住民・職域・中学校等で行っており、令和3年以降実施回数・参加者ともに増加傾向で推移している。

30.子育てファミリー・サポート・センター事業の推移

■子育てファミリー・サポート・センター事業の推移

資料：行政実績報告書（各年3月31日）



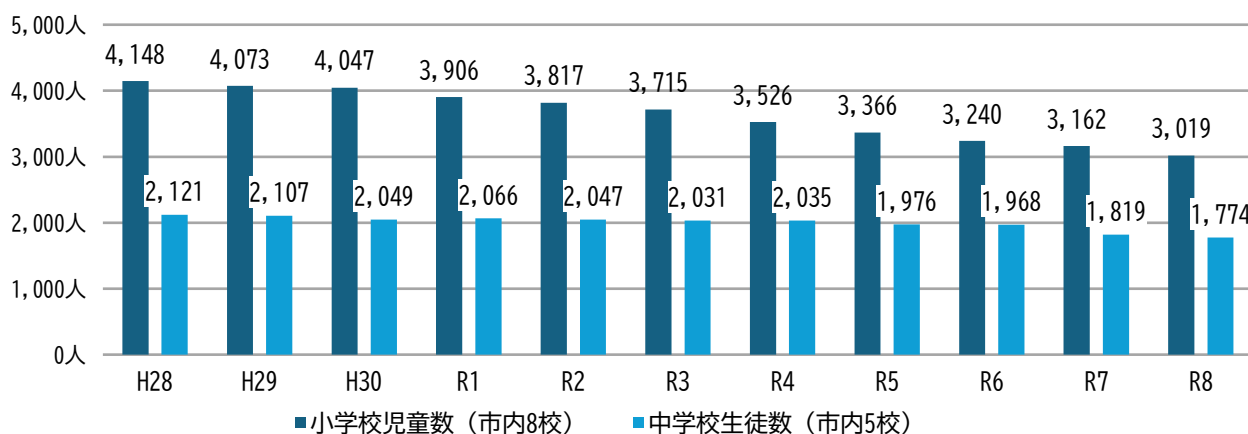
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
協力会員	42	48	53	62	65	64	69	75	76	77	78
利用会員	132	155	173	198	209	220	231	233	248	254	249
両方会員	6	6	8	9	9	9	10	10	12	12	12
登録者	180	209	234	269	283	293	310	318	336	343	339

協力会員、利用会員、両方会員とも増加傾向で推移しているが、特に両方会員については伸び幅が少ない状況となっている。

31.市立小学校児童数・中学校生徒数の推移

■市立小学校児童数・中学校生徒数の推移

資料：学校基本調査（各年5月1日現在）



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
小学校児童数（市内8校）	4,148	4,073	4,047	3,906	3,817	3,715	3,526	3,366	3,240	3,162	3,019
中学校生徒数（市内5校）	2,121	2,107	2,049	2,066	2,047	2,031	2,035	1,976	1,968	1,819	1,774
合計	6,269	6,180	6,096	5,972	5,864	5,746	5,561	5,342	5,208	4,981	4,793

小学校児童数、中学校生徒数とも減少傾向で推移している。

富谷市地域福祉計画各種統計資料

令和8年7月

富谷市保健福祉部長寿福祉課

TEL 022-358-0513（直通） FAX 022-358-9915